

アトリエ 琉游舎 だより 68号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
 琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2019年12月18日発行

新年祝祷会

元旦午前零時より琉游舎にて

- ★近くて一番早い初詣 琉游舎の新年祝祷会★
- ★除夜の鐘とともに新年祝祷会の法要を行います★
- ★30分ほどの法要です 新年をお祝いいたしましょう★
- ★新しい一年が豊かで実りある年になることを祈念しましょう★
- ★新年にお越しいただいた方に琉游舎の手作り御守護を差し上げます★



ご守護（お守り）はこれを持っていれば願いが叶うとか、安心安全に毎日を送ることが出来るということを保証するものではありません。もちろん頼みごとの依り代でもありません。持っているだけでは唯の紙切れです。
 お守りは「家内安全でありますように」「志望校に受かりますように」「事故を起こしませんように」という自分の誓いを、ちゃんと一年間忘れないようにと見守ってくれるもの。私たちの誓いの備忘録であり見届け役のようなものです。
 一年の計は元旦にあり、でも三日坊主も人の常。そんな私たちを一年間密やかに見守ってくれる守護袋になればよいなと思っています。琉游舎でお待ちしています。

1月2日から9日まで琉游舎は休舎致します。（1月2、9日の映画会もお休みです）

12・1月のスケジュール

月	火	水	19	20	21	22
23	24	25 居酒屋の会 16時から	26 映画会 13:30	27	28	29
30	31	元旦	2 休舎	3 休舎	4 休舎	5 休舎
6 休舎	7 休舎	8 休舎	9 休舎	10	11 詩話会 13時半から	12 写経会 13時半
13	14 読書会 13:30	15	16 映画会 13:30	17	18	19
20	21	22	23 映画会 13:30	24	25 居酒屋の会 16時から	26

居酒屋の会
12月25日(水)
16時から

詩話会
1月11日(土)
13時半から

写経会
1月12日(日)
13時半から

読書会
1月14日(火)
13時半から

映画会
毎週木曜日
13時半から

狂言綺語…美しい日本

いつもなら12月に入ったとたん冬を実感するようになるのですが、今年はまだ冬と秋の間を行ったり来たりしているような気候が続いています。おかげでコリーナの紅葉もまだ全て散ってはいません。小春日和の中を散歩すると風が吹くたびに舞い散る葉が日に煌めき、足元の枯葉はサクサクとした音を奏でます。かと思えば翌日は厳しい冷え込みとなり落ち葉に降りた霜にキラキラと朝日が反射します。その下の霜柱を踏む音がザクザクと足裏を刺激し心も体も覚醒してきます。これが初冬の美しいコリーナ。私の毎日の生活の中にある美しい日本。夏には夏の、冬には冬の、人それぞれのかげがえのない美しい日本があります。殊更に「美しい日本を作るのだ」と気負わなくても、ありのままに観ればそこはどこもかしこも美しい日本です。

理想的な立場を表明しているように見える言葉は、耳にも心地よく、口当たりもよいだけにとっても厄介な代物です。「美しい国、日本」「一億総活躍社会」「人づくり革命」どの言葉も反対できそうもない見事なかけ声（プロパガンダ）です。かけ声は一見平易で輪郭が明確、考える間もなく脳を直接刺激する言葉が有効です。そしてもっともらしく見えることが肝要。それは誰にも当てはまりそうで実は誰にも当てはまらない巧みな言葉であることが往々にしてあります。私たちは掛け声は実は絵に描いた餅に過ぎず、何らかの不都合な真実から目をそらすための逃げ口上でしかない現実を何度見てきたことでしょうか。「世界平和実現」や「核廃絶」もしかり。どこの国も宗教も同じようなことを言っていますが、そこに正義や宗教理念が入り込むとテロや戦争を引き起こしかねません。賢明な宗教家はその言葉が行いと結びついたとき危険な対立を生むことを理解しているので行いには踏み込まないようにしているのでしょうか。その対立を対話で解消できると愚直に信じる宗教家だけが掛け声を行いに変えて行くことが出来るのです。先日ローマ教皇フランシスコが被爆地広島と長崎を訪問し、そこで核兵器廃絶へのメッセージを発信しました。彼の言葉は少なくとも異教徒の私にも強い力をもって聞こえてきました。翻って被爆国の日本の賢明な宗教家は何をしているのか。「いや、ちゃんとうちの教団でも世界平和や核廃絶を宗是としている」と言われるかもしれませんが。でも行いを通して私たちの前に示さなければそれはただの掛け声です。それは言わないほうがまだましな言葉。言っただけでやった気になってしまう言葉、いつの間にかそんなはずではなかったということになってしまいう言葉。耳に心地よく理想を語ったように聞こえる言葉は要注意です。「美しい国、日本」のように。

「あなたもブツダになれる」これは前回述べたように法華経が書かれた目的です。何と耳に心地よい言葉でしょうか！しかし果たしてこの言葉にもっともらしい掛け声の影はないでしょうか？法華経の平等主義を端的に表した「あなたもブツダになれる」は、信仰の世界の平等であり俗世の平等を約束した言葉ではないと解釈されると、逆に俗世の不平等を容認し見過ごす言葉に転化することも可能なのです。「信仰の世界では私たちは平等なんだから、俗世の不平等は我慢しなさい」と。信仰の世界の平等を語ることは簡単です。それはあなたの心の問題だからです。しかし俗世の平等を唱えることは大変困難なことです。それは必ず時の権力や常識と軋轢を引き起こすからです。お釈迦様の教えが俗世の不平等を容認し見逃すことによって流布しているならば、それは誤った教え（謗法）です。宗教改革者と言われる人たちは、謗法を信じてしまい苦しむ人々を救うために、正しい教え（正法）と信じる教えを愚直に説き続ける人を指しているのです。

その宗教改革者の一人日蓮聖人は、人々が悪政と自然災害に苦しんでいるのは世に様々なお釈迦様の教えと称する謗法が広まっているからだと考え、信仰の世界が平等であれば俗世も平等の世界になるはずだと信じて、お釈迦様の正しい教え、正法を愚直に説いてきました。「あなたもブツダになれる」を信仰の世界だけでなく俗世の現実社会の中でも実現できると信じて行い続けてきたのです。その結果、時の権力から島流しの刑を受け頸を切られそうにもなりしました。お釈迦様の言葉をそのまま信じてそれを行いに変えていった結果は俗世からの厳しい弾圧だったのです。信行一致を信仰の世界だけで実現することはそんなに困難なことではありません。自分一人だけで精進し修行すればよい自己完結の世界だからです。しかし私たちは社会や他者の関係性の中でしか生きていくことが出来ないのです。信行一致を実践するならば社会生活の中で実践するほかないはずで。言葉（教え）が掛け声に終わってしまったらそれは謗法です。言葉（教え）の通りに実践すればそれは正法です。それがいかに困難なことかは日蓮聖人の例を見るまでもありません。

自分たちだけの聖域である僧坊に閉じこもって、あるいは国会の多数派の砦に守られ、そこからいくら理想的な言葉を表明しようがそれはプロパガンダに過ぎません。特定の思想・行動へ誘導する意図を持った集団の利益追求の手段なのです。実践と対話なき言葉はその虚飾の衣装をはぎ取ったら、中には何も残らない空っぽの空洞が残されるだけでしょう。現実の生活の場で対話し実践されて初めて言葉は数多の装飾を脱ぎ捨てありのままの姿を現してくれるのです。その時こそ私たちが言葉を信じる事が出来る時。宗教家は言葉が教えとして実践されるように、自らも信行一致の言葉を語り行い続けなければならないのです。

私の美しい日本は私の日々の生活そのもの。ここで観ること聞くこと行うことすべてが美しい日本との対話と実践です。あえてここで私の美しい日本を語らなければならないことに実はもどかしさを覚えています。美は語るものではなく享受するもの。しかし今語ることの実践を続けないと、私は **琉游舎：戸井 出琉・恭子** 私の美しい日本との生活が誰かに奪われてしまうのではと恐れる **お問い合わせ先：0287-53-7848 08033508152** のです。それはまたあなたの美しい日本でもあるはずで。 (出琉) **矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850**